

様式第2号（第3条関係）

行政視察等報告書

令和7年1月30日

米子市議会議長様

（会派の場合）

会派名 信風

代表者氏名 中田利幸

提出者氏名 大下哲治

（議員の場合）

議員名



（印）

下記のとおり報告します。

記

項 目	☐ 現地調査 ☒ 行政視察 ☐ 要請・陳情活動 ☐ 研修会への参加 ☐ 会議への参加
参 加 者	安達卓是、伊藤ひろえ、大下哲治、中田利幸
期 日	令和7年1月20日から令和7年1月21日まで
〔概 要〕（年月日・場所・内容） 令和7年1月20日・愛媛県松山市 ・中心拠点再生地区まちなかウォークブル推進事業について 令和7年1月21日・愛媛県松山市 NPO法人ささえる ・居住支援事業について	
〔所 感〕 別紙のとおり	
経 費	旅 費 @38,000 円×4 名=152,000 円
	タクシー代 2,120 円
	お土産代 @2,484 円×2 箇所= 4,968 円
	取扱・発券手数料 @1,000 円×4 名= 4,000 円
	合 計 163,088 円

（注）氏名を自署する場合は、押印を省略することができる。

愛媛県松山市

- ・年月日 令和7年1月20日 午後2時～午後3時30分 引き続いて午後4時過ぎ
- ・場 所 愛媛県松山市二番町4丁目7番地2 アーケード街(約1.2km)の街道視察
- ・内 容 中心拠点再生地区まちなかウォークアブル推進事業 歩いて暮らせる松山
- ・説 明 松山市都市整備部都市・交通計画課 主幹 神 野 誠 氏
同上 主任 牛 田 悠 登 氏

1 事業の概要(提供資料を参考)

松山城を中心に発展した城下町「日本100名城」や「美しい日本の歴史的風土100選」と日本最古の温泉を地勢にして本格的な少子高齢化社会を見据えて今までと異なるまちづくりを考えて、コンパクトで質の高い都市を目指す。そのため都市機能を高める拠点とネットワークの位置づけとして2000年(平成12年)から都市空間づくりを継続的に推進してきた。〔「全国街路事業コンクール」で最高位の国土交通大臣賞を受賞(R元年受賞)〕

事例として道路空間再配分と景観整備のため歩行者や自転車に配慮した空間の追求しトランジットモールの社会実験をして車両を制限し歩行者等に解放した。官民連携の景観形成のため安全な歩行空間を目指し車の速度抑制や統一的な看板等の整備。大街道電停のバリアフリー化によりロープウェイ街では整備後は、歩行者数がH15年と比較しH19年は<約3.5倍>増加し、地価が約1.25ポイント上昇してきた。また地価公示価格が右肩上がりで推移している。官民連携の景観形成では、道路を歩行者天国化したイベントなどによりH28年都市景観大賞を四国初めて国土交通大臣賞を受賞の紹介。この土曜夜市は、当初商店街の理解が得にくかったが、団体旅行から個人旅行の増加傾向が強まって来たという捉えの取組みであったという。

道後温泉地区では、事業規模が大きかったが7年近くの継続事業で、観光客が滞留できる歩行空間を目指して県道の付け替えを計画し安全な歩行空間イメージを描き街路整備に着手したものである。

城山公園については、城山周辺にあった野球場、陸上競技場、プールなどを通行量が減少したことを背景に、「公民学」連携でワークショップを開催し、それらの施設を撤去して車線を減少し歩道を広げ、自転車道を新たに整備してきた。広がった歩行空間で、沿道と一体的にプログラムを展開、自転車道の新設、舗装の高質化＝ここがポイントの一つと捉えることができた。

社会実験後のアンケート結果(来訪者、地権者等に向けた)で、徒歩での安全性・快適性の効果や車道を減らして歩道を拡張して欲しいなどの結果を紹介。

令和5年10月に公表されたコンセプトには「人々の往来と賑わいをくつなぐ>松山の交通・交流拠点」を目指し、「歩いて暮らせる松山の交流広場」がイメージ化されている。これらのコンセプトの具現化のため整備事業が現在、継続されて来ている。

【公共交通の乗り継ぎが便利で快適】【賑わい空間創出による中心市街地を活性化】

遅い交通に配慮し、道路の幅員構成を配分する道路空間の再配分を実施する計画だという。

2 所感

松山市の部局担当者が継続して、大学等の研究者らと城下町の街並みに歩行者などの交流場や空間を密集したエリアではなくゆとりの幅広さを描いた計画を長く継続して実現して来た整備事業内容が、例えば目指すところのコンパクトで質の高い都市のかたちとして、効率的で効果的な都市経営＝松山市らしい愛着を感じさせる都市形成を見ることができた。

官民連携の景観形成のところでは、道路を歩行者と車両に分けて運行している一般的な景観を安全な歩行空間を目指し車両に制限を加えて歩行者等に解放している様子を伺った時、発想の大きな転換を具現化してきたという実感ができた。このような現況→計画→実現への過程がたいへん興味が高まり、以前の一般的な発想には無いものを計画し、エリア全体を形成していることは、興味を持ち共感できた。歩行者、自転車、車両などで移動する空間を見て楽しむそして周辺の人たちと賑わいを共有しようとする姿勢を具体的に描き提供していく実相を体験できたことは、その当事者である計画者と経験者のいい共有物となっていた。

松山市の地域公共交通網形成計画については、並行する交通路線を統合する計画内容であり便数などを見直して効率的な運用とサービス向上させている様子をつぶさに体験させられた。米子市の今後の事業展開にもいいタイミングでたいへん示唆に富んだ発想や事業の着眼の視点を心得て聞くことができ有意義であった。

NPO法人ささえる

【日 時】 令和7年1月21日（火曜日）9：30～11：00

【会 場】 愛媛県松山市NPO法人ささえる

【内 容】 「居住支援事業について」

【説 明】 代表理事 山田 洋子さん

NPO法人ささえるの概要

法人設立 平成30年12月3日

構成メンバー 介護支援専門員、社会福祉士、医師、看護師、薬剤師など



活動目的

地域で活動してる福祉・医療の専門職を中心に設立した団体であり、愛媛県より居住支援法人の指定を受け、独り暮らしや生活困窮など、配慮の必要な方々への住まい支援を中心に活動を行っている。配慮の必要な方々が住み慣れた地域で暮らしていくために、地域に点在している支援や資源を結び付け、分かりやすく利用できるネットワークやシステムをつくりながら支援される側だけでなく、支援する側も支えられるよう、地域を支える役割を担うことを目指して活動している。

対象者：高齢者 障がい者 DV被害者 生活困窮者等

施設における活動内容

①緊急シェルター・シェアハウス事業

- ・旧医院を改装し短期滞在施設として活用する他、障がいや問題を抱える方々の就労訓練施設として活用

②食事支援・居場所づくり

- ・生活困窮の高齢者・障がい者・ひとり親家庭に対する食料の配布

③まちカフェ・学習支援・勉強会

- ・施設内でペイグルの製造を行い市内中心部にある直営店及びキッチンカーでの販売活動を通じ施設利用者の就労訓練及び雇用の創出を行っている
- ・タブレットを使った子供の学習支援
- ・つながる支援ネットワークを設立。年4回、テーマを決め各支援機関等との勉強会を開催



居住支援活動

①入退居支援

- ・居住希望者の意向を聞き取りながら物件の情報提供、不動産店への同行、家賃債務保証の手続き支援等

②見守り・安否確認

- ・電話や自宅訪問による見守りや安否確認及び電話による生活・介護・健康相談

③生活支援

- ・公的サービス対象外の生活支援。 ※マイナンバーの登録支援などを含む

④身元保証

- ・身寄りのない方などへの身元保証、金銭管理、成年後見人制度の利用支援

⑤死後事務委任

- ・亡くなった後の葬儀関連の手続き、公共サービスの解約、医療費等の清算、遺言書の作成支援等

所 感

社会において少子高齢化、核家族化が進む中で、個々で問題を抱え、生きづらさを感じておられる方が急増している。しかし、住民の多くが限られた情報しかないため、必要な公的サービスが受けられていない現状となっている。米子市を含め他の自治体では公民館社会福祉協議会等の支援機関等が対応しているが、松山市ではNPO法人「ささえる」が中心となり個々の住民に合った公的サービスを受けられるよう包括支援センター、社会福祉士、介護ヘルパー、訪問看護などの専門機関や職種の方々と連携して対応にあたっている。

NPO法人「ささえる」では暮らすことへの支援において居住支援、生活支援、心の回復支援、就労支援と段階的な支援を行う他、利用者が施設を出た後も継続的なサポートに取り組んでいるが、本法人の取組は米子市における今後の社会福祉協議会等の在り方について考える参考事例となった。

運営にあたっては補助金等の活用が必要不可欠であるが、補助事業の選択及び計画立案、報告書の作成等における事務作業が本来の業務以外に膨大な時間と労力を割いていることが課題であり、居住支援事業の安定化を図る上では、事務作業（人件費）分に対する補助制度の確立も課題であることがわかった。

今後、人口減少に伴い行政だけでなく民間においても人的資源の確保が課題となる中で、住民の暮らしを支える支援においては米子市においてもNPO法人「ささえる」のような民間の取組の推進が必要と考える。今後は今回の視察を参考とし、本市においても民間と公的支援機関等の連携関係の構築、情報共有、課題の把握等に取り組むとともに、民間の活動に対する支援体制の構築と強化に取り組んでまいりたい。

行政視察行程（会派：信風 4名）

月 日	行 程	宿 泊 先
1 / 2 0 (月)	7:30 9:47 10:35 13:15 13:21 13:24 13:26 13:35 13:37 13:38 米子駅 ===== 岡山駅 ===== 松山駅・・・JR 松山駅前駅 ===== 市役所前駅 ===== 松山市役所 JR 特急やくも 6号（岡山行） JR 特急しおかぜ 7号（松山行） 徒歩約 3 分 伊予鉄道市内線 5 系統（道後温泉行） 徒歩約 1 分	（昼食）列車内 【ホテル】 松山東急 REI ホテル 松山市一番町 3-3-1 ☎：089-941-0109 （MAP・市役所） （MAP・ホテル） 
	愛媛県松山市行政視察 午後 2 時 1 5 分から午後 3 時 4 5 分まで 【議会事務局：合田様】 ☎：0899-48-6652 【場 所】松山市役所/別館（愛媛県松山市二番町四丁目 7 番地 2） (MAP・市役所) 【調査項目】「中心拠点再生地区まちなかウォークアブル推進事業」について（現地視察あり） 【待ち合わせ】時間：午後 2 時 0 5 分 場所：市役所別館 1 F 玄関付近 	
	15:50 15:58 松山市役所・・・ホテル 徒歩約 8 分	
1 / 2 1 (火)	9:10 9:20 ホテル ===== NPO 法人ささえる タクシー	昼食・松山駅周辺 伊予鉄タクシー 0899213166 松山タクシー 0899246161
	民間団体視察 午前 9 時 3 0 分から午前 1 1 時 0 0 分まで 【山田代表】 ☎：0899-09-6412 【場 所】NPO 法人ささえる（愛媛県松山市中村 3－4－3） 【調査項目】「居住支援事業」について 【待ち合わせ】9：2 5 山田代表をたずねる	
	11:00 11:10 12:21 15:11 16:13 18:30 NPO 法人ささえる ===== 松山駅（昼食） ===== 岡山駅 ===== 米子駅 タクシー JR しおかぜ 18 号（岡山行） JR 特急やくも 19 号（出雲市行）	

愛媛県松山市行政視察及び民間団体（NPO法人ささえる）視察

信風

出 席 議 員 中田利幸、伊藤ひろえ、安達卓是、大下哲治

伊予鉄道運賃は日当対応